

県外から帰還する乳幼児家族のニーズとは

～現場の活動から今後の支援のあり方を考える～

東日本大震災発生からもうすぐ3年になろうとしています。県内外の約15万人の避難者は未だ先の見えない不安定な生活をおくっています。一方で、今年度は近隣県を中心に多くの避難者が帰還を始めています。県外の自主避難者の多くは、避難元自治体から遠く離れて暮らしていること、避難生活の実態が見えにくいことから、ニーズの伝達や状況把握が難しい状況になっています。

本シンポジウムでは、とくにニーズ把握が容易に進まない、小さなお子さんを育てる県外避難者の避難先での生活、帰還後の生活、それらの支援策、さらに県内に在留する人達との関係性に焦点をあて、支援者あるいは当事者として、もっとも現場に近いところで支援を継続されてきた方々に、これまでの支援の内容や課題についてお話していただき、帰還をとりまくニーズや課題を共有する機会にさせていただければと考えています。みなさまのご来場をお待ちしています。

日時：2013年12月11日（水）12：30～16：00
（開場：12：00）
場所：福島大学M講義棟1

お問い合わせ先

福島大学行政政策学類地域環境論研究室

（担当：西崎）

TEL：024-548-8297

E-mail：nishizaki[a]ads.fukushima-u.ac.jp

参加無料・申込不要

共催：福島大学行政政策学類・一般社団法人国立大学協会

M 講義棟

大学キャンパスへのアクセス

□「福島駅」よりJR東北本線「金谷川駅」下車
徒歩5分

≪福島駅から2つ目（所要時間約10分）

郡山駅から8つ目（所要時間40分）≫

□大学構内に駐車場はありますが、出来る限り
公共交通機関をご利用ください。



JR 金谷川駅へ

プログラム

12:00 開場

12:30 ～ 12:35 開会挨拶 行政政策学類長 中川伸一

12:35 ～ 12:45 主旨説明 西崎伸子（行政政策学類准教授）

第一部 12:45 ～ 14:50

○県内の＜帰還者支援＞の取り組み

- ・ 東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口 富田愛氏
- ・ NPO 法人りょうぜん里山がっこう事務局長 関久雄氏
- ・ NPO Earth Angels 代表 安齋牧子氏

○避難者からみた＜帰還＞支援

- ・ ひろしま避難者の会アスチカ代表 三浦綾氏

○支援者からみた＜帰還＞支援

- ・ NPO 法人みみをすますプロジェクト代表 みかみめぐる氏
- ・ 茨城大学人文学部社会科学科准教授 原口弥生氏

第二部 15:00 ～ 16:00

○コメンテーター

- ・ 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 鬼頭秀一氏
- ・ Japan Perspective News(株) ジャーナリスト 藍原寛子氏

○質疑応答

○まとめ・閉会